

# 平成30年度奈良県公立学校 教員採用候補者選考試験受験案内

奈良県教育委員会

## 【受付期間】（郵送・インターネット）

平成29年5月10日（水）～5月26日（金）（消印有効）

## 【第1次試験】

平成29年7月1日（土）（筆記試験・実技試験）

7月15日（土）～17日（月）いずれかの指定された1日（集団面接（個別））

## 【第2次試験】

平成29年8月11日（金）・12日（土）いずれかの指定された1日（実技試験）

8月13日（日）（集団面接（討議））

8月16日（水）～20日（日）いずれかの指定された1日（個人面接）

## 今年度の教員採用試験の特徴（主な変更点）

- ・第1次試験の筆記試験を昨年より1週間早めます。
- ・中学校及び高等学校の音楽、美術、保健体育、高等学校の書道では、第1次試験において筆記試験（一般教養、教科専門）に加えて、実技試験を実施します。
- ・「教職経験特別選考」では、第1次試験の一般教養に加えて、集団面接（個別）も免除します。
- ・実習助手を除く校種等、教科等を対象とした「教職経験特別選考」の受験資格を見直し、奈良県公立学校常勤講師（栄養教諭の場合は奈良県公立学校栄養職員を含む）に加えて、実習助手（臨時的任用を含む）の経験月数も通算可能とします（詳細はP2参照）。
- ・「身体に障害がある人を対象とした選考」の枠を取りはらいます。ただし、障害があり、受験に際して配慮を希望する人は、これまで同様に願書に記入してください。

## 〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	H30採用予定者数
小学校	※ 小学校英語教育推進特別選考も含む。	170人程度
中学校	国語13人程度、社会8人程度、数学13人程度、理科10人程度 音楽5人程度、美術6人程度、保健体育11人程度 技術・家庭計7人程度、外国語（英語）9人程度	82人程度
高等学校	国語10人程度、地理歴史4人程度、数学8人程度 理科（物理、化学、生物）計5人程度、音楽1人程度 美術2人程度、書道1人程度、保健体育4人程度 外国語（英語）10人程度、家庭1人程度、農業1人程度 工業（機械）1人程度、商業1人程度	49人程度
特別支援学校		35人程度
養護教諭		12人程度
栄養教諭		6人程度
実習助手	専門学科（工業、商業）、専門学科以外	3人程度

## 〔2〕受験資格

次の各号に掲げる要件に該当する人であること

- (1) 平成30年4月1日現在、年齢が次のいずれかに該当する人
    - ・39歳（生年月日：昭和53年4月2日以降）まで。
    - ・40～50歳（生年月日：昭和42年4月2日～昭和53年4月1日）。ただし、平成29年3月31日現在において過去に3年（36月）以上教諭として勤務実績を有する人に限ります。
    - ・51～59歳（生年月日：昭和33年4月2日～昭和42年4月1日）。ただし、奈良県公立学校栄養職員（任期の定めのない人に限る）で、平成29年3月31日現在において過去に3年（36月）以上勤務実績を有する人に限ります。
- ※ 上記月数には、国立及び公立学校の教諭、私立学校の正規の教員の経験月数を含みます。また、奈良県公立学校常勤講師（市町村費常勤講師を含む）及び実習助手（臨時的任用を含む）の経験月数、さらに、栄養教諭にあつては奈良県公立学校栄養職員の経験月数、実習助手にあつては寄宿舎指導員（臨時的任用を含む）の経験月数もそれぞれ含みます（いずれも非常勤職員の期間を除く）。
- なお、教育公務員特例法施行令第3条第3項の各号に該当する場合は勤務年数から除きます。
- (2) 受験する校種等で以下の免許状を所有（平成30年3月31日までに取得見込みを含む）し、所有する免許状の有効な状態を平成30年4月1日現在で保持できる人

校 種 等	所有する教育職員免許状及び資格
小 学 校	小学校教諭の普通免許状
中 学 校	受験教科等の中学校教諭の普通免許状
高 等 学 校	受験教科等の高等学校教諭の普通免許状
特別支援学校	特別支援学校教諭の普通免許状
養 護 教 諭	養護教諭の普通免許状
栄 養 教 諭	栄養教諭の普通免許状
実 習 助 手	教諭普通免許状の有無は問わないが、専門学科の実習助手を志望する場合は、工業、商業に関わる実務経験又は技術を有することが望ましい。また、専門学科以外の実習助手を志望する場合は、特別支援教育、医療、福祉関係又は農業教育の専門性を有することが望ましい。

- (3) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格事項のいずれにも該当しない人
- (4) 自力通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能な人
- (5) 県内どこにでも勤務できる人

## 〔3〕選考種別

### 《1》 一 般 選 考

- 1 募集する校種等、教科等  
P1〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数のとおり
- 2 受験資格 P2〔2〕受験資格(1)～(5)の全てに該当する人であること
- 3 出願手続 P4〔4〕出願手続についてに記載  
ただし、平成30年4月1日現在40～50歳（生年月日：昭和42年4月2日～昭和53年4月1日）で国立及び公立（奈良県以外）学校の教諭、私立学校の正規教員の人は、出願時に在職証明書（職名及び在職期間が明記されているもの、様式は自由）を提出（インターネットで出願した場合も、出願後速やかに郵送）してください。
- 4 選考方法 P7〔6〕に記載
- 5 選考種別の複数選択について ほかの選考種別を併せて選択することはできません。

## 《2》 教職経験特別選考（教職特別選考）

- 1 募集する校種等、教科等  
P1【1】実習助手を除く募集する校種等、教科等及び採用予定者数のとおり
- 2 受験資格  
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること  
(1) 平成30年4月1日現在、年齢が次のいずれかに該当する人  
**50歳**（生年月日：昭和42年4月2日以降）まで。ただし、奈良県公立学校栄養職員（任期の定めのない人に限る）は59歳（生年月日：昭和33年4月2日以降）まで。  
(2) P2【2】**受験資格**(2)～(5)の全てに該当する人  
(3) **国立及び公立（奈良県以外）学校の現職教諭又は私立学校の正規の現職教員**で平成29年3月31日現在3年（36月）以上勤務実績を有する人、若しくは奈良県内公立学校常勤講師（市町村費常勤講師を含む）及び実習助手（臨時的任用を含む）として直近5年間（平成24年4月1日～平成29年3月31日）で通算3年（36月）以上勤務実績を有する人  
※ 1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残り日数が15日以上の場合も1月とみなします。また、栄養教諭にあっては、奈良県公立学校栄養職員の経験月数を含みます。  
なお、教育公務員特例法施行令第3条第3項の各号に該当する場合は勤務年数から除きます。
- 3 出願手続 P4【4】**出願手続**についてに記載  
ただし、**国立及び公立（奈良県以外）学校の現職教諭、私立学校の正規の現職教員は、出願時に在職証明書（職名及び在職期間が明記されているもの、様式は自由）を提出**（インターネットで出願した場合も、出願後速やかに郵送）してください。
- 4 選考方法 P7【6】に記載  
**第1次試験**では**一般教養試験及び集団面接を免除**し、教科専門、実技試験における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします（第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います）。
- 5 選考種別の複数選択について  
「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」を併せて選択することができます。

## 《3》 小学校英語教育推進特別選考（小英語特別選考）

- 1 募集する校種等、教科等  
小学校  
※ **小学校英語専科担当を募集するものではありません**。担任及び英語（外国語活動）以外の教科も担当します。
- 2 受験資格  
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること  
(1) P2【2】**受験資格**(1)～(5)の全てに該当する人  
(2) 次のいずれかに該当する人 ※ 免許状のみ、平成30年3月31日までに取得見込みを含む。  
・ **小学校教諭普通免許状と英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状**を共に所有  
・ **小学校教諭普通免許状**を所有し、P8【9】**加点申請⑥**のいずれかの資格を取得
- 3 出願手続 P4【4】**出願手続**についてに記載
- 4 選考方法 P7【6】に記載  
第2次試験では一般選考（小学校）と同じ実技試験、集団面接（討議）のほか、**外国語活動の模擬授業を含む個人面接**を行います。
- 5 選考種別の複数選択について 「教職経験特別選考」を併せて選択することができます。
- 6 加点について  
P8【9】①、⑥、⑦の要件を全て満たしている場合は、第1次試験において最高26点を加点します。

## 《4》 中学校・高等学校英語教育推進特別選考（中高英語特別選考）

- 1 募集する校種等、教科等  
中学校外国語（英語）及び高等学校外国語（英語）
- 2 受験資格  
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること  
(1) P2【2】**受験資格**(1)～(5)の全てに該当する人  
(2) 出願時点で、**実用英語技能検定**（日本英語検定協会）**1級**、**TOEFL**（国際教育交換協議会）**PBT600点**以上若しくは同**CBT250点**以上、同**iBT100点**以上、**TOEIC**（国際ビジネスコミュニケーション協会）**860点**以上の資格をいずれか取得している人
- 3 出願手続 P4【4】**出願手続**についてに記載
- 4 選考方法 P7【6】に記載  
**第1次試験**では**教科専門試験を免除**し、一般教養及び集団面接における合格最低点（一般選

考同校種・教科等受験者)以上の人を合格とします(第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います)。

5 選考種別の複数選択について 「教職経験特別選考」を併せて選択することができます。

## 《5》 社会人を対象とした特別選考(社会人特別選考)

1 募集する校種等、教科等

校種	教科
高等学校	数学、理科(物理、化学、生物)、農業、工業(機械)、商業

2 受験資格

次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること

- (1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格事項のいずれにも該当しない人
- (2) 平成30年4月1日現在、年齢が**50歳**(生年月日：昭和42年4月2日以降)までの人
- (3) **数学、理科(物理、化学、生物)を受験する場合は、大学を卒業又は大学院を修了しており、研究施設、民間企業(教育事業を除く)、官公庁等(公立学校を除く)に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する人**  
**農業、工業(機械)、商業を受験する場合は、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する人**

※ **勤務・実務経験は、平成29年3月31日までの常勤のもの**とします。

- (4) 受験する校種、教科の**教諭普通免許状の有無は問いません**。ただし、相当の教諭普通免許状を所有しない場合は、次の要件①及び②に該当することが必要です。

① 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する人

② 教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人

なお、この場合、**合格後に特別免許状申請の手続きが必要**となります。

3 出願手続 P4〔4〕**出願手続について**に記載

ただし、**出願時に2000字以内の自己推薦文(A4判、様式自由)を提出**(インターネットにより出願した場合も、出願後速やかに郵送)してください。

4 選考方法 P7〔6〕に記載

第1次試験における一般教養に替えて、個人面接を実施します。また、第1次試験では、教科専門及び集団面接における合格最低点(一般選考同校種・教科受験者)以上、かつ、個人面接における基準点以上の人を合格とします(第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います)。

5 選考種別の複数選択について ほかの選考種別を併せて選択することはできません。

6 その他

**第2次試験に合格した場合は、在職・勤務証明書等(A4判、様式自由)を提出**してください。

## 《6》 大学院・教職大学院特別選考(大学院特別選考)

1 募集する校種等、教科等

小学校

2 受験資格

**平成28年度奈良県教員採用候補者選考試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受理している人であること**

3 出願手続 P4〔4〕**出願手続について**(郵送により出願する場合)に記載

ただし、**出願時に大学院・教職大学院特別選考受験承認書を提出**してください。

4 選考方法

第1次試験及び第2次試験の実技試験を免除し、**集団面接(討議)及び個人面接(模擬授業を含む)**を行い再度判定します。

5 選考種別の複数選択について ほかの選考種別を併せて選択することはできません。

## 〔4〕 出願手続について

郵送により出願する場合		インターネットにより出願する場合	
受付期間	平成29年5月10日(水)～平成29年5月26日(金)	受付期間	平成29年5月10日(水)～平成29年5月26日(金)
出願書類	(1) 教員採用候補者選考試験願書等(A票・B票・C票・D票) ※ <b>A票・B票は、必ず両面印刷</b> をして提出してください。また、 <b>C票・D票には、写真を必ず貼付</b> してください。 (2) 受験票返信用封筒1通(長3:12.0cm×23.5cmの定形のり付封筒に <b>242円切手</b> (特定記録として	出願方法	奈良県ホームページ <a href="http://www.pref.nara.jp/">http://www.pref.nara.jp/</a> から「電子自治体」の <b>e古都なら</b> (電子申請)を選択後、申請・届出を選択してください。 (注1) 最初に、「e古都なら」メニュー中の「ご利用方法」を必ず読んでください。 (注2) <b>利用者IDとパスワード</b> (利用者登録をされた方のみ)及び <b>整理番号とパスワード</b>

郵送方法及び出願先	<p>郵送のため)を貼付し、宛先を記入したもの)</p> <p>必ず書留郵便とし、<b>5月26日(金)まで</b>の消印のあるもの)に限り受け付けます。封筒の表面に「出願書類在中」と朱書きしてください。</p> <p>(郵送先) 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課 (住所不要) ※ 直接持参しても受付をしません。</p>	<p>は、受験票等をプリントアウトするときに必要になりますので、必ず控えをとっておいてください。</p> <p>(注3) 申請の最後に表示される「申請完了」画面(整理番号とパスワードが表示される画面)で、「一覧へ戻る」をクリックすると申請完了となります。</p>
受験票送付	<p>6月5日(月)に、受験票を送付します。</p>	<p>6月5日(月)にメール送信される受験番号が入力されたC票(受験票)・D票(写真票)をプリントアウトし、D票に写真を貼付して<b>6月16日(金)必着</b>で教職員課宛に書留郵便で郵送してください。また、C票にも写真を貼付し、第1次試験当日に持参してください。</p>

※ 提出書類に不備がある場合や二重に出願(郵送とインターネットでの出願等)した場合は、受験を認めないことがあります。また、出願後の選考種別、受験校種等、教科等の変更は認めません。注意して出願してください。

※ 受験が認められない場合でも、提出された書類は返却しません。

※ 郵送により出願し、6月12日(月)までに受験票が到着しない場合は、問い合わせ先(P10参照)に連絡し確認してください。

## 〔5〕試験日程及び内容等

### 1 ◆◆◆ 受験者への注意事項 ◆◆◆

- 試験場への自動車、二輪車、自転車の乗り入れ及び周辺道路上、コンビニ等周辺施設への駐車は厳禁です。また、車やタクシーでの送迎も禁止します。
- 障害があり、試験会場への自動車等の乗り入れや受験に際して配慮を希望する人は、願書(B票)3「受験上の配慮事項」に記入してください(記入した内容により、第1次試験終了後に個人面接を実施する場合があります。実施の有無は後日連絡します)。
- 試験会場への電話等での問い合わせは行わないでください。
- 不正行為があった場合は、受験することができません。
- 暑さ対策のため、**上着・ネクタイの着用は特に必要ありません。**
- 今後のお知らせは、奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載しますので、注意深く確認してください。  
ホームページアドレス (<http://www.pref.nara.jp/1695.htm>)

### 2 ◆◆◆ 第1次試験について ◆◆◆

#### 1 受験当日の持参物について

- 受験票
- 結果通知用封筒1通(長3:12.0cm×23.5cmの定形のり付封筒に92円切手を貼り、宛先(受験者住所及び氏名)を記入、封筒表面右下に受験番号を記入したもの)
- 加点申請をした人は、申請に必要な書類のコピー(それぞれの書類の右下に受験番号を記入)
- 筆記用具(鉛筆等)、消しゴム、上履き、靴入れ、実技試験に必要なもの

#### 2 試験日程について

	一般選考			教職特別選考		小英語特別選考	中高英語特別選考	社会人特別選考	配点
	実習助手	小学校 中高(実技無) 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	中高 (実技有)	小学校 中高(実技無) 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	中高 (実技有)				
第1次試験	7月1日(土) 集合8:50 試験開始9:15	午前	一般教養<マークシート>	一般教養<マークシート>	一般教養<マークシート>	一般教養<マークシート>	一般教養<マークシート>	個人面接	90点
		午後		教科専門	教科専門	教科専門	教科専門	教科専門	教科専門
15日(土) ~ 17日(月) 概定された日時	全日	集団面接(個別)			集団面接(個別)				100点

- 6月5日(月)11:00頃に、教職員課ホームページで、試験会場（県立高等学校）及び各校種等、教科等の**集団面接日**等をお知らせする予定です。
- 各受験者の具体的な集団面接の日時は、7月10日(月)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 筆記試験は、**試験開始後20分までに試験会場に入室しなかった場合は、受験できません。**
- 集団面接は、**集合時刻に集合場所にいない場合は、受験できません。**
- 試験を欠席した場合、**それ以後の試験を受けることはできません。**

### 3 試験内容について

試験内容	実施方法	出題内容等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出題し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題（全員解答）と選択問題（2領域を選択し、それぞれ解答）を出題します。 ※ 選択問題・・・地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択。 理科は出題時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択。
集団面接（個別）		中学校及び高等学校外国語（英語）受験者は、 <b>英語による質問</b> があります。

### 4 実技試験について

校種等	教科等	課題及び持参物等
中学校 高等学校	音楽	《ピアノによる弾き歌い》 下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。 ※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。 【中学校】 ① 「花」（1コーラス後の間奏終了まで） 武島羽衣 作詞／ 滝廉太郎 作曲 ② 「夏の思い出」（1番のみ） 江間章子 作詞／ 中田喜直 作曲 ③ 「浜辺の歌」（1番のみ） 林 古溪 作詞／ 成田為三 作曲 【高等学校】（いずれも原語で） ① 「Caro mio ben」 ジョルダニーニ 作曲 ② 「Santa Lucia」 ナポリ民謡 ③ 「O sole mio」 カープア 作曲
	美術	《鉛筆による素描》素描に使用する用具、画板を持参してください。
高等学校	書道	書道用具を持参してください。
中学校 高等学校	保健体育	器械運動（マット運動）、陸上競技（ハードル走） ※ 運動着、体育館用運動靴を持参してください。

## 3 ◆◆◆ 第2次試験について ◆◆◆

### 1 試験日程について

第2次試験	日	試験内容	配点	小学校	中学校 高等学校	特別支援学校	小学校 以外配点	実習 助手	実習助手 配点
				小英語 特別選考	小学校 配点	中学校 高等学校 (実技無) 右記以外の教科			
第2次試験	8月11日(金)	実技試験 音楽・体育	50点						
	12日(土)				実技試験		100点		
	13日(日)	集団面接（討議）	100点		集団面接（討議）		100点	集団面接 （討議）	100点
	16日(木) ～ 20日(日) 指定された日時	個人面接 （模擬授業 を含む）	個人面接 （外国語活動 の模擬授業 を含む）	200点		個人面接 （模擬授業を含む）		200点	個人面接

- 模擬授業の課題は、7月20日(木)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 上記以外の第2次試験に関わる内容（試験会場〈県立高等学校〉、実技試験の班編制及び集団・個人面接の日時等）は、8月7日(月)11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。

- 集団・個人面接、実技試験は**集合時刻に集合場所にいない場合は、受験できません。**
- 試験を欠席した場合、**それ以後の試験を受けることはできません。**

## 2 実技試験について

校種等	教科等	課題及び持参物等
小学校	音楽	<p>《歌唱》下記の①～③のうち、当日指示する曲（楽譜は試験場に用意）を無伴奏で歌唱します。</p> <p>① 「ふじ山」 巖谷小波 作詞 文部省唱歌</p> <p>② 「まきばの朝」 船橋栄吉 作曲 文部省唱歌</p> <p>③ 「春の小川」 高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲 文部省唱歌</p> <p>《器楽演奏》ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。 ※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。</p>
	体育	<p>器械運動（マット運動）、水泳（クロール）、ボール運動（ゴール型）及び走・跳の運動（小型ハードル走等）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳ができない場合は、体づくり運動（多様な動きをつくる運動）を実施します。</p>
中学校 高等学校	音楽	<p>《任意の箏曲を暗譜で演奏》</p> <p>箏の調弦（13弦平調子を基本とする）をし、任意の箏曲を1曲暗譜して演奏します。（10分以内）</p> <p>※ 爪は各自持参してください（流派は問いません）。</p> <p>※ 調子笛等の持ち込みは禁止します（ピアノで最初の音をとっても構いません）。</p> <p>《ピアノによる弾き歌い》</p> <p>当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて歌唱します。</p>
	美術	<p>《水彩による表現》水彩画に使用する用具、画板を持参してください。画架の持参は自由です。</p>
高等学校	書道	<p>書道用具を持参してください。</p>
中学校 高等学校	保健体育	<p>武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（背泳ぎ、平泳ぎ、クロール）、球技（ゴール型：バスケットボール）、ダンス（現代的なリズムのダンス）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳ができない場合は、球技（ネット型：バレーボール）を実施します。</p>

## 〔6〕選考方法及び結果発表について

### 1 第1次試験の選考方法

(1) 一般選考及び小学校英語教育推進特別選考

次のそれぞれの合計得点により判定します。 ※ 〈 〉の内の数字は満点

小学校……………一般教養〈90点〉、教科専門〈200点〉（国語・社会・数学・理科〈各45点〉・英語（リスニングを含む）〈20点〉）、集団面接（個別）〈100点〉、加点

中高実技有…一般教養〈90点〉、教科専門〈150点〉、実技試験〈50点〉、集団面接（個別）〈100点〉、加点

中高実技無、特支、養論、栄論

…一般教養〈90点〉、教科専門〈200点〉、集団面接（個別）〈100点〉、加点

実助……………一般教養〈90点〉、集団面接（個別）〈100点〉、加点

(2) 上記以外の特別選考 別途判定します（詳細はP2～P4参照）。

### 2 第2次試験の選考方法

次のそれぞれの合計得点により判定します。 ※ 〈 〉の内の数字は満点

小学校……………実技試験〈50点〉、集団面接（討議）〈100点〉、個人面接〈200点〉

中高実技有…実技試験〈100点〉、集団面接（討議）〈100点〉、個人面接〈200点〉

中高実技無、特支、養論、栄論、実助…集団面接（討議）〈100点〉、個人面接〈200点〉

3 上記各試験には、それぞれ合格基準があり、基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点が上位であっても不合格となる場合があります。

4 **第1次試験の結果は8月2日(水)、第2次試験の結果は9月15日(金)、どちらも10:00頃**

に奈良県庁正面掲示場に掲示するとともに、**11:00頃**に教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話での問い合わせに応じることはできません。

5 合格通知後であっても、第1次試験及び第2次試験で不正が発覚した場合、合格を取り消します。

## 〔7〕名簿登載及び採用についての注意事項

1 合格者は、奈良県公立学校教員採用候補者名簿に登載され、原則として**平成30年4月1日**に採用されます。

2 名簿登載後であっても、**願書に虚偽の記載**をしたことやP2〔2〕**受験資格の要件を満たさないことが判明した場合は、採用内定を取り消すことがあります。**

- 3 小学校を受験して合格した人で、専修免許状取得のために大学院又は教職大学院に進学・進級する場合は、**辞退届（様式は自由）**と次回（合格した翌年から最大2年以内）受験時のための、**大学院・教職大学院特別選考受験の申請書（様式は後日、教職員課のホームページに掲載）**を提出してください。次回受験時は第1次試験を免除し、第2次試験から受験していただきます。  
 ※ 大学院・教職大学院特別選考合格後に**専修免許状**が取得できない場合は、採用を取り消すこととなりますのでご注意ください。
- 4 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

## 〔8〕その他

- 1 願書送付後、採用試験の受験を辞退する場合は、必ず教職員課長宛に**辞退届（様式は自由）**を提出してください。
- 2 **合格発表の日から1月間**（ただし、**第1次試験合格者は、第2次試験の合格発表の日から1月間**）、試験の結果（総合得点・順位及び各試験の得点）について、奈良県個人情報保護条例に基づき、口頭による開示を請求することができます。  
 開示を請求する場合は、受験者本人が、受験票及び本人であることを証明できるものを持参のうえ、**平日午前9時から午後5時まで**の間に、奈良県教育委員会事務局教職員課に直接お越してください。
- 3 出願後、教職員課（0742-27-9844）より連絡を入れる場合があります。特に、携帯電話は連絡が受け取れるように設定してください。

## 〔9〕加点申請

- 1 次の①～⑦に該当する人については、「**加点申請**」することにより**第1次試験に限り加点**します。  
 ※ ①～⑤に限り平成30年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

	校種等（教科等）	選考種別	加点対象となる内容	加点得点	提出物
①	小学校	一般選考	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有	6点	願書の加点申請欄で申請した免許状等のコピー 小学校教諭普通免許状 中学校教諭普通免許状 高等学校教諭普通免許状 司書教諭講習修了証書
		小英語特別選考	小学校及び <b>英語以外</b> の中学校教諭普通免許状を共に所有 又は 小学校及び <b>英語</b> の中学校教諭普通免許状を共に所有	6点 又は 10点	
②	中学校	一般選考	次のいずれかに該当 ・小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有 ・「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有	6点	
③	中学校	一般選考	司書教諭の資格を所有	6点	
④	高等学校	一般選考	受験する教科等の高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有	6点	
⑤	高等学校（地理歴史）	一般選考	「地理歴史」と「公民」の高等学校教諭普通免許状を共に所有	6点	
⑥	小学校	一般選考	次のいずれかの資格を取得 ・ <b>実用英語技能検定</b> （日本英語検定協会） <b>準1級</b> 以上 ・ <b>TOEFL</b> （国際教育交換協議会） <b>PBT550点</b> 以上 ・ <b>CBT213点</b> 以上 ・ <b>iBT 80点</b> 以上 ・ <b>TOEIC</b> （国際ビジネスコミュニケーション協会） <b>730点</b> 以上	6点	
	中学校（英語） 高等学校（英語）	一般選考		10点	
⑦	全校種等 教科等	一般選考 小英語特別選考	次のいずれかの資格を所有 臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士	6点	資格証明書のコピー

- 2 申請する場合は、願書A票の「加点申請」に必要事項を記入してください。
- 3 加点申請する人は、上記の**提出物を7月1日（土）に試験会場に持参**してください。
- 4 ①～⑤を取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず免許状等のコピーを奈良県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。  
**提出しない場合、又は、取得見込みで受験し平成30年3月31日までに取得できなかった場合、加点が無効となり、採用内定を取り消すことがあります。**